

平成29年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市アイスアリーナ（新潟アサヒアレックスアイスアリーナ）		
管理者名	㈱新潟パティネージュ	指定期間	平成26年2月1日 ~ 平成41年3月31日
担当課	文化スポーツ部スポーツ振興課		
所在地	新潟市中央区鐘木257-17		
根拠法令			
設置条例			
施設概要	敷地面積 9,994㎡、 建築面積 5,440㎡、 延床面積 5,499㎡、 建築規模 鉄骨造地上2階建 主な諸室 メインリンク（30m×60m国際規格）、サブリンク（15m×45m）、 観客席998席（固定席688席・可動席232席・仮設席78席）、選手更衣室、休憩軽食コーナー 多目的室、おやこルーム、会議室、救護室、事務室		

施設設置目的

市民の健康増進及び氷上スポーツの普及・振興を主な目的に、市民の交流、地域の活性化を促進し、本州日本海側唯一の通年型氷上スポーツ施設として、市県外からの交流人口の拡大を図ることを目的として設置する。

管理・運営に関する基本理念、方針等

- (1) 施設の利用促進
- 【課題】
- 施設利用者のニーズに応え、リーズナブルで利便性の高いサービスの提供に努める。
 - 施設を有効活用して、さまざまな人々が集い交流できるスポーツ施設とする。
 - 障がい者等の利用に配慮し、誰でも気軽に利用できる施設とする。
- (2) 氷上スポーツの普及振興
- 【課題】
- 氷上スポーツ教室や競技会・イベントの運営、支援、氷上スポーツの普及・振興に積極的に寄与する。
 - 校外活動や団体利用を積極的に受け入れ、氷上スポーツの普及に努める。
- (3) 施設が安全かつ快適に利用できる品質、水準の保持
- 【課題】
- 良質な氷の環境とし、安全で気持ち良く滑走できるリンクとする。
 - 施設の環境を良好に保ち、施設利用者の健康被害を防止する。
- (4) 省資源、省エネルギーに努めた管理の実施。
- 【課題】
- 館内の適切な温湿度管理を行い、省エネによる維持管理費の低減、CO2排出量の削減に努める。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	広報の充実	ホームページ等による情報提供を 月2回以上更新	月平均6.6回	A	イベントの開催等に合わせた積極的に情報発信したことは評価できる。
		ホームページアクセス数 年間250,000件以上	369,992件	A	ロシア合宿等の特殊要因もあったが、タイムリーに情報発信を行いアクセス数の増加につながったことは評価できる。
	基準利用者数の達成	施設利用者数(リンク利用者)年間140,000人以上	119,783人	C	昨年度よりは利用者数が増加しているが、利用者数増加のため、更なる広報の充実を行うこと。
		氷上スポーツ申込者数 7,800人以上	5,865人	C	ロシア合宿等の特殊要因がある中昨年度よりも参加者が増えたことは評価できるが、更なる参加者の増加に努めること。
		校外活動利用数220団体以上	207団体	C	広報など積極的なPRなどを行い、申込件数の増加を図ること。
		団体利用数190団体以上	112団体	C	広報など積極的なPRなどを行い、申込件数の増加を図ること。
	基準稼働率の達成	年間稼働日数364日以上	365日	B	
		専用利用率(利用日数/365) 95%以上	98.63%	B	
		氷上スポーツ教室 開催数 500回以上	459回	C	スケジュール調整を行い、開催数の増加を図ること。
	設置目的に合致したサービス提供	送迎バス利用者8,000人以上	3,573人	C	自家用車以外での利用者の獲得のため、PR方法の再検討・強化を図ること。
		氷上スポーツ教室に継続して2か月以上参加数1,600件以上	1,226件	C	教室の開催日程・内容を見直し、魅力ある教室の開催を図ること。
		スケート教室指導員参加者20人以上に対し1人以上配置	全教室配置	B	適切に対応した。
		飲食・物販サービスに対する満足度で「満足」が70%以上	67%	C	利用者ニーズを的確に把握するよう努め、サービスの向上を図ること。
		接客に対する満足度で「満足」が90%以上	83%	C	利用者ニーズを的確に把握するよう努め、サービスの向上を図ること。
財 務	エネルギーの効率的な利用	水光熱費を年間 22,000,000円以下	23,792,978円	C	ロシア合宿等の特殊要因もあったが、可能な範囲で更なる経費の削減に努めること。
	管理運営経費の削減	管理運営経費を年間 50,000,000円以下	68,334,148円	C	ロシア合宿等の特殊要因もあったが、昨年度と比較しても増加している。更なる経費の削減に努めること。
業 務	施設・設備に起因する苦情、事故	0件	0件	B	適切に対応した。
	法令で規定する点検検査の実施	100%	100%	B	適切に対応した。
	防災訓練の実施	年2回以上	2回	B	適切に対応した。
	事業計画、事業報告の適切さ	連絡会議月1回以上	月1回	B	適切に対応した。
	業務仕様書	業務仕様書等に定める事項の遵守	要求水準以上の業務を実施	B	適切に対応した。

人 材	従業員のスキルの習得	職員研修を年6回以上実施	15回	A	目標を大きく上回っており評価できる。
	外部研修・講習会の受講	年1回以上受講	2回	A	目標を上回っており評価できる。
	人員条件の充実	氷上スポーツ講師資格者2人以上	7人	A	目標を大きく上回っており評価できる。人員を活かし氷上スポーツの普及に努めてほしい。
		スケート監視員可能スタッフを10人以上雇用	17人	A	利用者の安全のため目標数以上の雇用を行っており評価できる。
		救護に関する有資格者3人以上	3人	B	適切に対応した。
	労働基準の充足	労働基準法の遵守	違反行為無	B	適切に対応した。

【評価基準】
A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
B: 要求水準(評価指標)が達成されている
C: 要求水準(評価指標)が達成されていない
※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

本年度は個人利用者数増加を目標に、生涯スポーツとしての滑走並びに競技人口の為の、氷上スポーツ教室の活性化に取り組みました。結果、ロシア合宿により2月は教室開催ができませんでしたが、参加人数の前年比が105%と上昇しました。また、指導員の技術向上にも取り組み、指導員向けの講習会を定期的で開催し、施設従業員からも指導員資格を新たに5名取得することができました。来季の目標としては、冬季オリンピック後の谷間のシーズンとなり、来場者の減少が予想される年度ではありますが、個人利用者数が落ち込むことの無いよう、引き続き氷上スポーツの普及に努めたいと存じます。

所管課による総合評価(所見)

従業員のスキルの獲得や人員条件の充実において目標を大きく上回っており、氷上スポーツの普及促進や安全な施設運営に積極的に取り組んでいることは評価できる。また、ホームページによる情報発信の充実にも取り組んでおり、施設利用者の増加に取り組んでいることも評価できる。一方で、ロシア合宿等の特殊事情もあったが、利用者数が目標に届いておらず改善を行う必要がある。施設への注目度が高まっている現在の状況を踏まえ、どのような広報・PRを行えば新規の利用者を獲得できるのか、多角的に検討を行ってほしい。また、利用者満足度も目標に届いていないため、利用者ニーズを的確に把握するよう努め、リピーターの獲得にも努めてほしい。